

日本会議 愛知県本部
〒464-0836
愛知県名古屋市中区菊坂町3-5-302
E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL:052-763-4678
FAX:052-763-4588



あいち通信 第七十四号

終戦七十周年を迎え、愛知縣護國神社にて 憲法改正署名活動を実施

去る八月十五日の終戦の日、恒例(五年目)の愛知縣護國神社境内に特設テントを設置して、署名・啓発活動や冷茶サービスを行った。本年は七十周年の節目で、参拝者も例年より多く、特に若い男女や、親子連れが目立った。テントに立ち寄った、少年二人に声をかけてみると、高校生とのこと。「知多から電車を乗り継いで、初めてお参りに来ました」「お参りできて良かったです」「英霊に感謝します」などなど。署名も進んで書いてくれた。嬉しかったし、心強く思った。このような青少年が陸続として現れることを願って止まない。

また、水田美子西春日井支部長の発案で、自ら賄った日章旗と旭日旗の小旗を参拝者に配布されたが、ほとんどの方が喜んで受け取られていたし、進んで求められる方も多かった。この日、約二時間で百五十筆の署名が得られた。

最後に、愛知縣護國神社様はじめ、前日のテント設営、当日のスタッフとしてお手伝いいただいた方々に、心より感謝申し上げます。

(愛知県本部 事務局長 服部守孝)



靖国神社 終戦七十年 若人の集い 参加報告

八月十五日、靖国神社は七十年目の終戦の日を迎えた。小生はほぼ毎年、終戦の日靖国神社に参拝しているが、参拝者特に若年層は例年増加傾向にあると思われる。大変心強い限りである。マスコミは安保法制反対の世論構成に奔走して、決して我が国の実相を報じることをしない。だが、終戦の日の靖国神社には、慰霊と感謝に包まれた慎ましやかな光景が厳かに広がる。無論、品格を疑う安保法制反対デモとはその質と規模においては比較する余地もない。このことは、我が国民の民意が反戦平和ではなく、英霊の志を継承する積極的平和にあることを静かに論じている。

さて、例年、終戦の日の午前からは正午過ぎまでは境内で戦没者追悼中央国民集会が開催されており、正午には参加者一同で天皇陛下のお言葉を拝聴した。また、本年は、謝罪外交との決別を表明した前日の安倍談話を評価のうえ、首相による靖国神社参拝の定着への要望と憲法改正の早期実現への邁進を誓う声明文が参加者一同により採択された。

午後からは靖国神社にも「協賛いただき、終戦七十年の特別企画事業として「終戦七十年若人の集い」が開催された。アジアの若人からは我が国への感謝と憲法改正への期待が示されるとともに、我が国の若人からはパラオ慰霊奉迎団の活動報告、戦後世代としての決意表明等を行った。我々が今後連帯すべきアジアの仲間を先確認するまたとなし好機となった。終了後にはスタッフのみで「若人の出発の夕べ」が開催され、各活動団体の枠を越えて、若手保守で意見交換を行い、志を共有した。今回の若手保守の団結を一過性のものとするこなく、いかに憲法改正への大きなうねりへと繋げるか。小生をも含む若人に課せられた今後の大きな課題である。(愛知県本部 事務局 森喜隆)

報告・名古屋東部支部第二十三回勉強会、街頭演説活動実施!

街頭演説活動実施!

●開催日時 八月二十三日(日) 午後三時～午後五時 ●会場 昭和区 御器所交差点南西角地 ●会費 無料 ●参加者数 四名 ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」：八月下旬とはいえ、まだまだ真夏のように暑く汗ばむ陽気の中でしたが、自主憲法制定の重要性についてしっかりと訴えさせていただきました。力による現状変更を議論する中国共産党への抑止力として、また北朝鮮による拉致事件の解決への道筋として憲法を変えなければならぬ点、そして関連して安保法制の早期成立の大切さ等が主な内容となりました。自転車に乗りながら罵声を浴びせかける女性などの否定的な反応もありましたが、信号待ちの間の立ち話で現在のマスコミの問題や自主防衛の大切さなどについて通行人の方と意見交換したりなど意義のある出会いもありました。今回も多くの方にチラシをお渡しすることができました。街頭活動終了後、近くのコンビニの喫茶スペースにて、今回の街宣の反省会および10月に開催いたしますタウンミーティングの準備状況について報告などを行いました。☆次回予定 九月二十日(日) ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」 ●場所 御器所交差点周辺 ●時間 午前十時三十分～十二時三十分 ☆次世代の党タウンミーティング(テラス)にて名古屋東部支部が後援となり協力する事となりました。(十月十八日/日曜、午後一時三十分開場、名古屋企業福祉会館(名古屋市中区大須二一九-三六) ●お問合せはメール(kakenashi_katou@hotmail.co.jp) 加藤貴之宛までお気軽にご連絡の程、宜しくお願致します。(愛知県本部 名古屋東部支部 事務局長 加藤貴之)



陵墓参拝記 その八

長い休暇を取ることができたので、一の機を利用して西日本の陵墓を巡礼しようと思ひ立ちました。例の便利サイトを検索してみると大阪府、京都府、奈良県には無数の陵墓が密集しているのですが、それ以西についてはそれほどでもありません。今回はなるべく遠くの陵墓をメインにすなわち九州地方をターゲットに決めました。

高速道路の渋滞を避けるため夜中に自宅を出発しおよそ六時間を一気に運転し山口県防府市に到着しました。防府市役所の近くにある桑山公園の小高い丘の上、ここに第三十一代用明天皇の皇子、来目皇子の殯(もがり)の宮を営んだ殯斂地(ひんれんち)があります。来目皇子は聖徳太子の実の弟君であります。第三十三代推古天皇に任那日本府を滅ぼした新羅の征討を命ぜられます。二万五千人の軍を率いて進軍しますが筑紫の地で病に倒れ薨去されます。その後三周防の地で殯の宮が営まれたといふことです。丘の上は見晴らしがよく瀬戸内海を望むことができました。合掌。



再び高速道路に入り下関の二つ手前の小月インターを出て下関方面に車を走らせます。壇ノ浦の五キロほど手前の小高い丘の上の日頼寺という臨済宗東福寺派のお寺の脇をさらに少し上ったところに第十四代仲哀天皇の殯斂地があります。筑紫の地で神の祟りでお隠れになり武内宿禰によりこの地でおよそ三年のあいだ殯の宮が営まれました。その間、神功皇后はおなかに応神天皇を身籠りながらも三韓征伐をお達しになり、お戻りになられてから応神天皇をお生みになり、その後ここで仲哀天皇との別れを惜しんだことでしょうか。合掌。



さていよいよ壇ノ浦です。なぜ「いよいよ」と申しますと、壇ノ浦の第八十一代安徳天皇の御陵の参拝で神武天皇から先帝陛下までの御陵参拝がコンプリートするからです。国道二号線を進み国道九号線に入り左手には壇ノ浦の景色が望まれるようになります。何隻もの貨物船が浮かんでいます。幕末に長州藩と、英仏蘭米の列強四国との間に起きた馬関戦争の情景が想像できます。平安時代の壇ノ浦の合戦ではそれより小さな木造船が入り乱れていたことでしょうか。そしてここで二位尼に抱かれて安徳天皇は入水されたのです。関門橋をくぐってほどなくすると右手に赤間神宮があります。まずは赤間神宮に参拝しました。二礼二拍手一礼。そして神宮参道左側に安徳天皇の阿彌陀寺陵があります。二礼二拍手一礼。



赤間神宮から海沿い約一キロ南西に行ったところには龜山天皇皇

皇孫の尊親親王のお墓があります。合掌。

ここから下関市の内陸部へ約四十五キロ車を走らせます。豊田湖という人工湖の近くに安徳天皇の西市陵墓参考地があります。義経が神剣を探しあぐねてこの地に安徳天皇の御尊骸を葬ったとのこと。合掌。この日は下関駅近くのビジネスホテルに宿をとりました。(愛知県本部 事務局 松川秀康)

事務局日誌(八月) 服部守孝

一日(土)第十四回もうひとつの戦争展二日目は、特別企画として西村幸祐氏(評論家)の講演会があり、百名超の参加者があつた。終了後は軍歌の集いがあり、引き続き多くの人が参加され、大いに盛り上がった。軍歌の集いは、初めての試みだったが好評を博した。二日(日)第七十一回愛知県護国神社清掃奉仕。猛暑ながら、十六名の参加があつた。戦争展最終日で、夕方より撤収作業。七日(金)株式会社ラローラの社内懇親会にお招きいただき、乾杯の音頭を仰せつかった。

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 10月4日(日)午前8時開始、9時終了予定。
■引き続き11月1日(日)午前8時より実施予定。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
★9月6日は、8名の方が参加していただきました。ちょうど結婚式が催されていました。



(8月2日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引き続きご購入くださいますようお願いいたします。

八日(土)電話回線不調により、NTTに点検してもらったら、屋外配線の異常と判明。三十分程で復旧。
十四日(金)午後から愛知縣護国神社にて明日のテント設営。六名の方がお手伝い駆けつけていただいた。
十五日(土)愛知縣護国神社は終戦七十年を迎え、例年より参拝者が多かった。特に、若い男女や親子連れが目立った。日本会議愛知県本部では、恒例の冷茶サービスと署名コーナーを設置。今年は、水田美子西春日井支部長の発案で、日章旗と旭日旗の小旗を配布したが、多くの方が喜んで受け取られていた。
二十一日(金)覚王山日泰寺の縁日に合わせて、「救う会」が署名活動を実施。近くなので久しぶりにお手伝いに参加。いつもながら、女性の署名協力者が多かった。今後は、毎月二十一日は同所で実施することとなった。
二十六日(金)東京。南部文宏愛知県議に同行して、日本会議事務局と特定失踪者調査会事務所を表敬訪問。
二十八日(金)美しい日本の憲法をつくる愛知県民の会第一回推進者会議を開催。賛同者拡大方針につき、協議がなされた。
三十一日(月)夕方より、戦争展反省会へ参加団体代表が一堂に会し、本年の成果と今後の課題について話し合った。